

条幅規定

師 範 佐田英一郎

運腕大きく、直線を効かせたリズムで、思いきりよく、シャープな線と意欲的な筆力、独自の構築性で存在感を放ち、質実剛健な力作である。少し墨を薄め抒情感も加味してみよう。

条幅随意(臨書)

師 範 田原 綾泉

この古典の用筆をよく理解し、ゆっくりと丁寧にひかれた運筆と落ち着いた確かな構築性で文字も安定し、温かさと品格の高さが漂っている。師範らしい力量も感じられる。今後の精進に期待する。

条幅随意

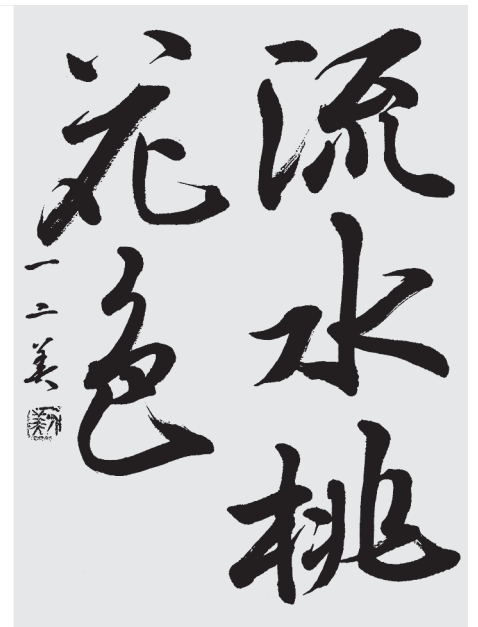
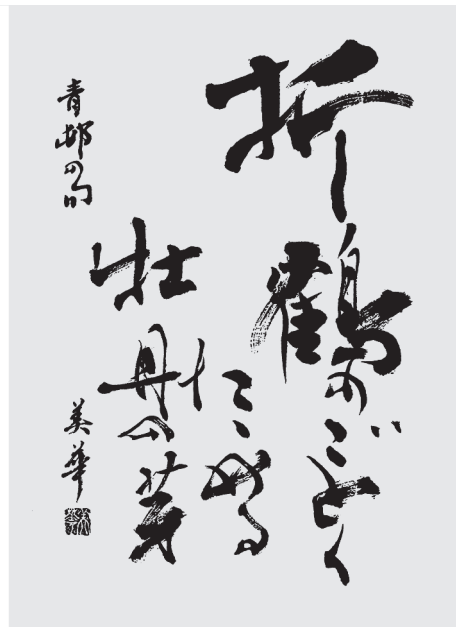
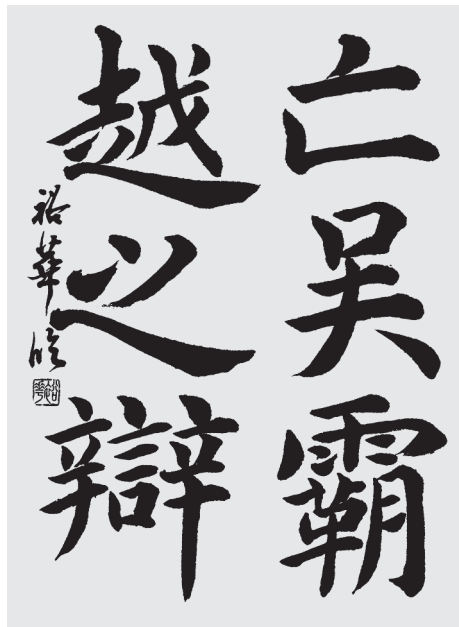
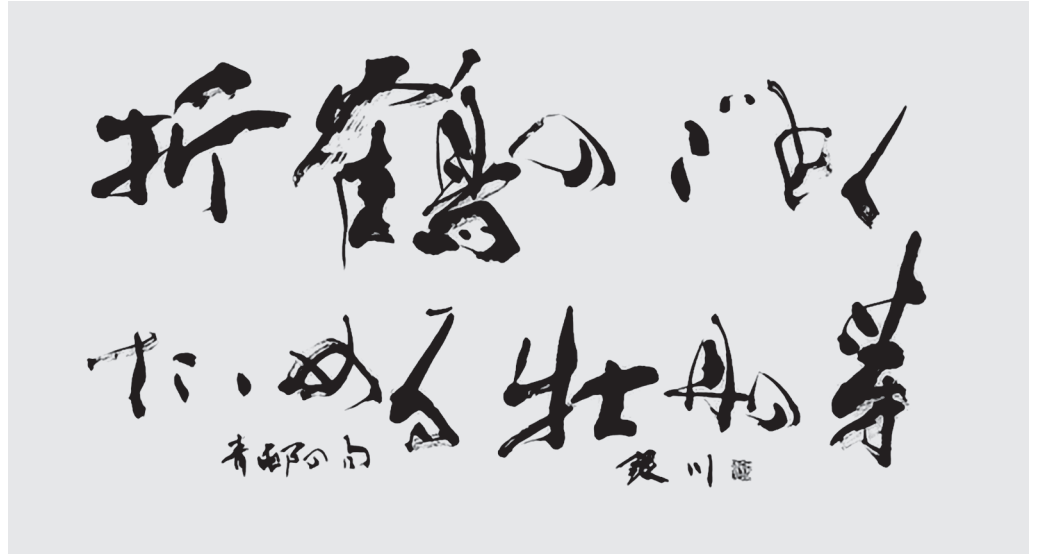
成 家 下川 沙舟

詩情にあった、昔のほろ苦い思い出を淡墨で表現したのであるうか。心に残る思い出はいつも優しい。墨の色と滲みが作品に生命感を与え、詩文書の醍醐味を感じさせるこれからの書である。

半折 ½横

師範正 佐藤 銀川

横書きの書作品は、文字の響き合いや文字の大小、余白や横への流れの展開などが難しいと思うが、無理のない自然な筆捌きで、作品に生命感を与え、洗練された存在感のある快作である。



半紙規定

師範 齋藤一二美

永年培われてきた正確な眼力と迷いのない自然な筆捌きが作品に生命感を与え、書に対する意気込みと心の豊かさや自信、楽しささえ感じられる。日本文化の継承を望む。

半紙随意

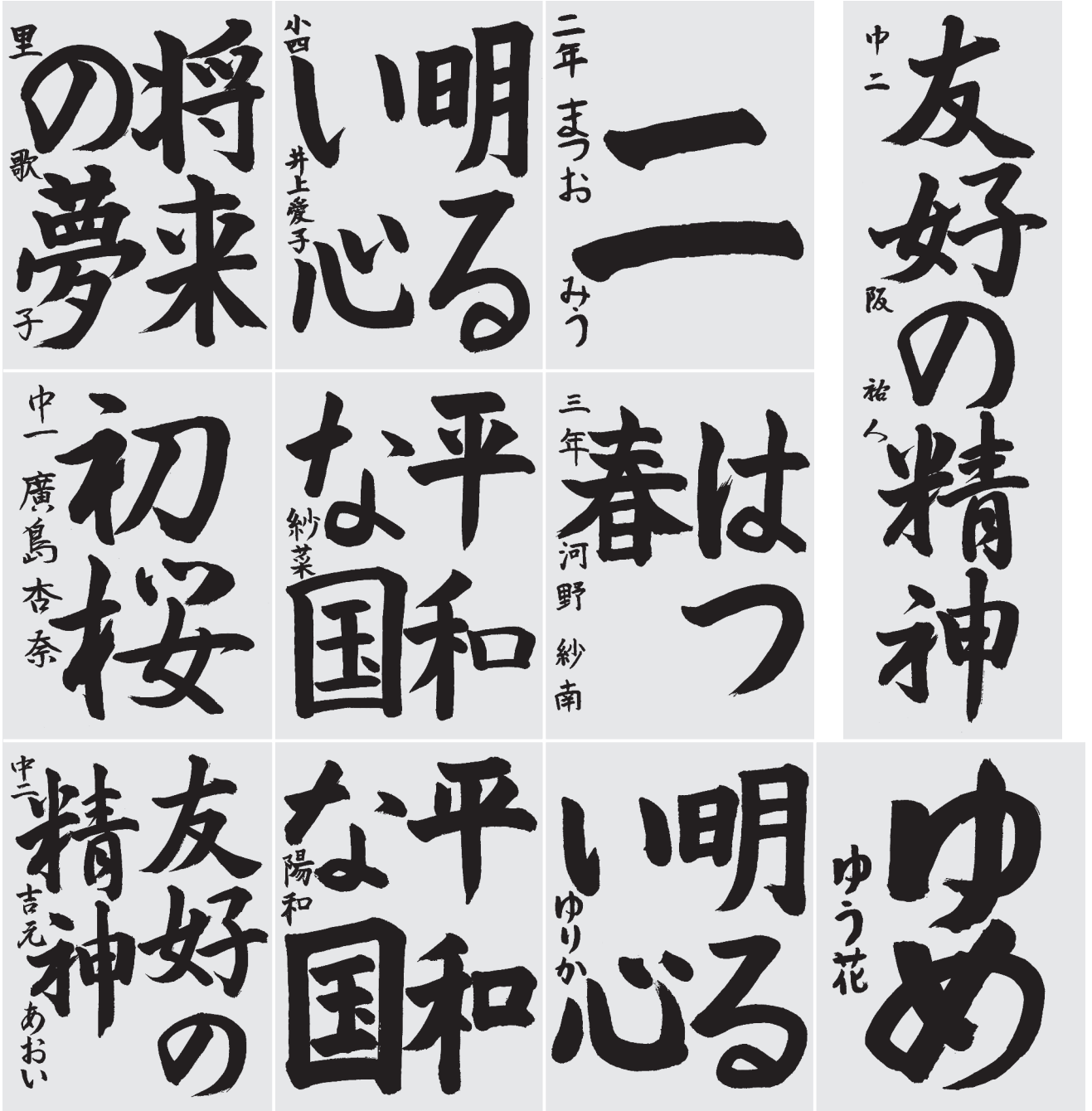
準五段 川村 美華

手本をよく観察し、気持ちに筆に乗せ、紙面に投影し、心豊かで、作者の優しさと真面目さを感じる自然体の作品です。全体のバランスもよく、景色のよい清涼感のある作品です。

半紙随意(臨書)

師範正 山口 裕華

古典の特徴を理解し、温か味のあるやわらかな線に品格を加え、自然体で書かれている。線も安定し、文字サイズや構築性もバランスよく、師範正らしい力量を発揮した作品だ。



学生部条幅 (1/4)

中二 六段 阪 祐人

かやばゆう花 小一 8級  
かたちよく「ゆめ」の二もじがかけてましたね。おさえ・はらいが、とてもいいです。おけいこよくがんばりました。

五文字の大小の変化と全体の流れが自然で、とても良い作品です。学年・名前がもっと大きく元氣よく書けたらもっと素晴らしいと思います。

まつおみう 小二 準5級  
かんたんそうに見えて、むずかしいかだいでした。が、みうさんはのびやかにしっかりと書いています。なまえもすばらしい!!

河野 紗南 小三 準二段  
「春」がとてもむずかしかったと思います。が、三文字をバランス良く書けました。「はつ」はもっと太く元氣よく書きましょう。

神 優梨花 小四 五段  
力強い線にとっても魅力を感じます。この作品を見ていると心が晴れやかになってきます。見る人を元氣にしてくれる作品です。

井上 愛子 小四 二段  
「明」の縦画がしっかりときれいに書けました。「心」の「ハネ」を長くして最後の点をもっと上に書くと大きくなりますよ。

田村 紗菜 小五 五段  
漢字と平仮名のバランスが良く、「平」の最終画は素晴らしいです。素晴らしいです。転折の押さえがもっと上手に出来るように練習しましょう。

吉水 陽和 小五 四段  
「国」の線がとても力強いですね。好感が持てます。ただ上の二文字が小さく見えまますので大きさを揃えて書けると良いですね。

友松里歌子 小六 五段  
半紙いっぱい伸び伸びと書いた素晴らしい作品です。大きな夢が実現することを願っています。将来が楽しみです。

廣島 杏奈 中一 四段  
行書の形や筆順の変化も理解して書いて明るい良い作品です。名前の行書も丁寧に書いています。この調子で更に頑張ってください。

吉元あおい 中二・三 特待生  
リズムに乗った自然な流れから生まれた線に勢いがあり、あおいさんの真つ直ぐな性格が表れています。横画の終筆に注意を。

